プレスリリース資料

平成２３年８月６日
福島県保健福祉部
福島県農林水産部

７月１８日から８月６日に実施した肉用牛飼養農家等（計画的避難区域及び緊急時避難準備区域以外の肉用繁殖農家・酪農家）２,９２３戸の調査が終了し、１１１戸の農家で放射性物質で汚染された稲わらを給与又は、敷料として使用されたことが判明しました。

そのうち、８戸の農家から既に１３頭の肉牛が出荷され、流通したことが明らかとなりましたのでお知らせします。

なお、当該牛が出荷されたと畜場及びその頭数について、関係する自治体に情報提供し、流通状況の確認を依頼します。

また、当該牛肉の残品があれば、放射性物質の検査も併せて当該自治体に依頼し、検査の結果、放射性セシウムの暫定規制値を超えた食肉については、関係自治体より各事業者に対して自主回収等の指示をしていただくよう依頼します。

県は、引き続き、県内肉用牛農家に対する定期的な立入調査を行い、適正な飼養管理の再徹底を指導してまいります。

（別紙）

１　各農場からの肉牛出荷状況

４月１日から６月２１日までに、１３頭がと畜されていた。各農家のと畜頭数及び出荷先は以下のとおり。

農家	所在	と畜日	出荷頭数	出荷先
A	二本松市	４月１日、４月４日	３頭	神奈川食肉センター（神奈川県）
B	須賀川市	５月２５日	１頭	筑西食肉センター（茨城県）
C	田村市	５月３１日	１頭	横芝光町営東陽食肉センター（千葉県）
D	田村市	４月８日	１頭	津山市食肉センター（岡山県）
E	石川町	５月３１日	２頭	仙台市ミートプラント（宮城県）
F	平田村	６月２１日	１頭	仙台市ミートプラント（宮城県）
G	古殿町	４月５日、４月２２日	３頭	福島２、神奈川１　※
H	鮫川村	５月３０日	１頭	那須地区食肉センター（栃木県）
計			１３頭	

※ 福島：(株)福島県食肉流通センター、神奈川：神奈川食肉センター

２　肉用牛農家の稲わら等の放射性検査の結果

（単位：ベクレル/kg）

農家	所在	種別	放射性ヨウ素	放射性セシウム（134 ＋ 137）
A	二本松市	稲わら	ND	83,000　〔18,864〕
B	須賀川市	稲わら	ND	40,000　〔 9,091〕
C	田村市	稲わら	ND	49,000　〔11,136〕
D	田村市	稲わら	ND	18,200　〔 4,136〕
E	石川町	稲わら	ND	15,800　〔 3,591〕
F	平田村	稲わら	ND	12,300　〔 2,795〕
G	古殿町	稲わら	ND	1,950　〔　443〕
H	鮫川村	稲わら	ND	11,400　〔 2,591〕

注）：○ ND は不検出を示す。

○〔　　〕は、粗飼料の暫定許容値（300 ベクレル/kg）との比較のため、飼料の水分を 12 ％と推定し、水分 80 ％に補正を行った場合の放射線量を参考に示す。